

令和3年度 住民型有償サービス 「マネージャー研修」(第3回目)

令和3年12月20日(月)に住民型有償サービス「マネージャー研修」の第3回目を中津市教育福祉センターにて開催しました。

今回の研修は、住民型有償サービス団体のマネージャーと地域包括支援センターの専門職とがお互いの活動内容を理解し、顔の見える関係となることで、今後よりよい連携ができることを目的としており、住民型有償サービスのマネージャー17名と、中津市地域包括支援センターの専門職10名がご参加くださいました。



当日はまず、お互いの業務を理解する為に、改めて住民型有償サービス マネージャー 吉田 日出子氏と、中津市地域包括支援センター(高齢者相談支援センター) 社協 主任介護支援専門員 小野 香里氏に、それぞれの役割についてお話いただきました。



沖代どんぐりサービス
マネージャー 吉田 日出子氏

平成7年沖代どんぐりサービス立ち上げ時から26年間マネージャーを務められている沖代どんぐりサービス マネージャー 吉田 日出子氏には「住民型有償サービスのマネージャーの役割について」と題し、長年の経験から普段感じていることや大切にしていることなど、マネージャーとしての“想い”も併せてお話いただきました。また、実体験を交えながらお話くださったことで、先入観を持たずに相手の話をじっくり傾聴するという、相手の良い所を見つける視点の重要性などを身近に考える機会となりました。



中津市地域包括支援センター
(高齢者相談支援センター) 社協
主任介護支援専門員
小野 香里氏

中津市地域包括支援センター(高齢者相談支援センター) 社協 主任介護支援専門員の小野 香里氏には「地域包括支援センターと居宅介護支援事業所の役割について」と題し、以前から有償サービス マネージャーの皆さんよりお声をいただいていた内容についてお話いただきました。「居宅と包括の違いが分かった」「地域包括支援センターの役割や業務内容を知ることができ、困った時は抱え込まずに相談させてもらおうと思った」など、“知る”ことができたことで、今後の関わり方について考える貴重な機会となったとのことのお声が多くありました。

最後に、担当地区ごとに分かれたグループワークにて日頃の支援についての意見を交わすことができました。「直接話して、本音が聞けて良かった」「今日、相談できて良かった」「今後も定期的にこのような機会があると良い」などの意見があったので、今後も継続して合同研修会を開催していきたいと思っております。